

令和 2 年度

大阪府立寝屋川高等学校

学校教育自己診断

結果と分析

実施日 令和 2 年 12 月
ホームルームで実施

実施対象 生徒 999／1071 (93.3%)

保護者 728／1071 (68.0%)

教職員 48／69 (69.6%)

生徒編

今年度は新型コロナウイルス感染予防に対する意識調査を質問項目として追加をした。
今年度の一番大きな課題でもあるが、平均値としては「入学してよかった」という満足度に次ぐ高い数値となった。感染対策が一定できていることの表れであるが、意識と行動が完全に一致していない場面もあり、今後も油断せずに感染防止対策をしていくことが安心して学校生活を過ごす基本となる。また、全ての項目の平均値は過去3年間においてポイントが向上している。

- 「自分は部活動に意欲的に参加していて、成長していると思う」「自分は学園祭や体育大会など学校行事に積極的で、楽しく参加している」の項目でポイントが上昇しており、コロナ禍で学校生活でも制限の多い中で学習以外での面でも一生懸命取り組んで文武両道をめざしている姿がうかがえる。
- 「教育方針や教育計画を分かりやすく示している」が3.025から3.106になり、学力向上委員会の主導で教員が学習における目標設定について協議し、研究授業をおこなっていることがこの評価につながっていると考えられる。その一方で「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設けている」については3.417から3.314に下がり、コロナ禍での土曜講習が実施できなかったことやオンライン学習の充実が課題と考える。
- 「自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う」の項目が低いことが課題のひとつではあったが、3.082から3.155と向上しており、様々な学校生活を通じて自己肯定感を高めることにつながっていると考える。コロナ禍で様々な制限がかかる中、オンライン授業の充実や進路指導など自己実現につなげていくための工夫が必要である。

生徒用		令和2年度	令和元年度	平成30年度
平 均		3.234	3.180	3.111
学校生活は満足していて、 入学してよかったと思っている。	①	3.460	3.422	3.317
学校は教育方針や教育計画を わかりやすく示している。	②	3.106	3.025	2.963
学校は授業以外の講習や補習など、 学力向上のための場を設定している。	③	3.314	3.417	3.387
自分は部活動に意欲的に参加していて、 成長していると思う。	⑬	3.439	3.430	3.308
自分は学園祭や体育大会など 学校行事に積極的で、楽しく参加している。	⑭	3.394	3.337	3.276
自分はマスク着用、手洗いなどの新型コロナウイルス 感染予防を意識して行動がとれている。	⑮	3.446		
自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	⑯	3.155	3.082	2.949

数値は回答の①4点②3点③2点④1点として平均を出したものの。

数値が大きいほうが評価は大きい。

保 護 者 編

生徒の全項目の平均値は3年間で徐々に上昇しているが、保護者に関しては逆に減少している。学力向上、進路実現ならびに教育相談の充実と目に見える形での発信に今後、さらなる取り組みが必要となるであろう。

- 「学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している」の項目が3.207から3.218に向上しており、コロナ渦で厳しい条件の中で保護者からの一定の評価を得ていると考えられる。その中では安全が最優先と考えられるが、その項目である「学校は子どもの健康や安全に十分配慮している」について平均が3.00から3.12に向上しているのは、養護教諭を中心に対策を講じてきた結果であろうと考えられる。
- コロナ渦で保護者にとって情報提供も重要な項目であり、「学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している」が3.16から3.19に向上していることは現在の環境がすぐに改善することが困難な中では、継続していくことが重要である。
- 学習および進路指導に関する項目は若干向上しているが、「先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している」「先生は保護者の相談に丁寧に応じている」でポイントが減少しているので、コミュニケーションを十分にとり、保護者の信頼を回復することが課題である。
- 生徒と同様に保護者にも部活動における成長は高い評価をえている。今後も文武両道を軸に据えて教育活動を進めていくことが肝要である。

保護者用		令和2年度	令和元年度	平成30年度
平 均		3.066	3.108	3.143
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	①	3.218	3.207	3.264
学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している。	②	3.186	3.112	3.168
学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している。	⑧	3.121	3.000	3.157
先生は子供のことを真剣に考えてくれるので信頼している。	⑩	3.211	3.216	3.251
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	⑪	3.233	3.211	3.242
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。	⑫	3.518	3.513	3.463
入学させて良かったと満足している。	⑮	3.451	3.466	3.429

数値は回答の①4点②3点③2点④1点として平均を出したものの。

数値が大きいほうが評価は大きい。

教 職 員 編

○生徒、保護者と同様に「健康・「安全」面の項目でポイントが向上しているのは学校の取り組みが理解されていると考えられる。また、「特別活動や部活動が人間力形成に大きな意味がある」の項目も生徒、保護者、教員共に高いポイントを得ていることは「文武両道」を共通理解として教育活動を推進していくことが肝要であると考ええる。

○生徒では「悩みを相談できる人や場所がある」「先生は生徒のことを真剣に考えてくれている」の項目が教育相談の充実該当すると考えられ、生徒からのその評価は向上しているが、保護者および教員ではその評価が下がっていることについては、個々の対応に差がないかなどの検証をおこない組織としての充実を図ることが向上の一助ではないかと考える。

○学力向上委員会で寝屋川スタンダードの策定に向けて組織として動き出しているが、コロナ対応に時間をとられたことで「教授表や教材研究になどの自己研鑽の時間や生徒と向き合う時間確保できている」や「指導内容・方法などの工夫・改善をおこない生徒の意欲喚起に努めている」のポイントの低下にポイント自身の低さにつながっていると考えられる。コロナ禍で GIGA スクール構想に対応するためにはいかに効率よく業務を進めるか検討する必要がある。

教員用		令和2年度	令和元年度	平成 30 年度
平 均		2.924	2.901	2.964
学校は生徒の健康や安全に十分配慮している。	④	3.313	3.173	3.327
学校の特別活動や部活動は人間力を育成する上で大きな意味がある。	⑥	3.708	3.654	3.615
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	⑩	3.042	2.788	2.885
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	⑪	3.191	3.353	3.462
教授法や教材研究など自己研鑽の時間や生徒と向き合う時間が確保できている。	⑫	2.500	2.490	2.769
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	⑮	2.957	2.846	3.100

数値は回答の①4点②3点③2点④1点として平均を出したものの。

数値が大きいほうが評価は大きい。